

令和3年1月6日（水）

令和2年度 第三学期 始業式 講話

校長 内田

- 新年明けましておめでとうございます。
- 今年のお正月も天気に恵まれ、家族そろって良い年を迎えたことと思いますが、例年と違って寂しいお正月になったのではないのでしょうか。親戚の集まりもなくて、まだお年玉もらってないよ、という人も多いのではないかと思います。
- 今週中にも2回目の緊急事態宣言が出されると言われる状況ですので、しばらくは我慢の日々が続きます。2学期終業式でお話しましたが、「ピンチをチャンスに」変えるためにも「現実を冷静に受け止めて、決してあきらめずに」みんなで力を合わせて取り組んでいきましょう。「忍耐と工夫」は続いていきます。
- さて、終業式はリモートで行ったのですが、いくつかのクラスで映像や音声の不具合が生じてしまい申し訳なかったため、今回は放送にしています。しかし、今後も可能な限り環境を整え、ICT活用にチャレンジしていきたいと考えています。
- 来年度には柏市全体で「GIGAスクール構想」に取り組みますので、一人一台のタブレット型パソコンが配備されます。先生方も手探りのところがありますが、新しい時代を生きる皆さんにとって、大切な学びになりますので積極的に取り組んでほしいと思っています。
- 去年の始業式を思い起こすと、令和時代とオリンピックイヤーの幕開けとして、希望に満ち溢れた気持ちで、「グローバル化や多様性、寛容性」というキーワードとともに、大きな志を持ってほしいという願いから「3人のレンガ積み職人」のお話をしました。
- しかし、そんな雰囲気はあっと言う間に「新型コロナウイルス感染症」という見えない敵に取り込まれてしまい、2020年は時が止まったような1年になってしまいました。
- 今は昨年とはまったく逆に、暗く苦しい状況の中でのスタートになっていますが、これまで耐え忍びながら努力してきたプロセスから、改めて気づかされたことや新しい価値や行動様式、関係性などを生かして、一步一步進んでいければ必ず乗り越えられると信じています。
- 今年の干支は「丑（牛）」です。干支にまつわる話として、「牛はのんびりしていることを自覚していて、誰よりも早く神様の元を目指して出発して、確実に歩を進めて、事実上一番に到着した。」と伝えられています。ネズミは牛の背に乗って最後に飛び降りて一番になったというのも有名ですね。
- また、牛は人間にとって大変ありがたい存在でもあります。牛乳や食肉を提供してくれる上に、古来労働力として人の役に立ってきました。
- そんな牛のように、誠実で忍耐強く、一步一步着実に物事を進められ、人の役にたつ姿を目標にしながら、日々を過ごしていく一年にしたいと思います。
- 最後に、コロナから少し離れて（関連はしていますが）、お願いというか課題を出したいと思います。皆さんは「SDGs」って知っていますか。説明はできますか。ここではあえて説明しませんが、この「SDGs」について興味関心を持ってもらい、自分で調べたり、授業や学習と結び付けて考えたりして行ってほしいのです。先生方にも授業で取り扱ってほしいと考えています。 <裏へつづく>

- では、3年生全員の進路実現と立派な卒業、1，2年生の一段階ステップアップする成長、コロナ禍を乗り越えた生活を心から祈り、始業式のお話とします。

【保護者の皆様へ】

- 明けましておめでとうございます。
- 去年は全国一斉臨時休校から始まり、ご家庭には本当に大きなご負担をおかけしました上に、感染症対策等にも様々にご協力とご配慮をいただき、誠にありがとうございました。
- 今年も現時点では状況は変わらず厳しいものがありますが、子どもたちの成長は止まることはありませんし、妨げてはいけないと考えています。
- 子どもたちの笑顔と成長のため、できる限りの教育環境を整え、工夫を凝らしながら進めてまいりますので、変わらぬご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。
- 年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。